

佐波東の住民投票

賛成多数 5639 票

反対を1988票上回る

投票率は
58・35%

伊勢崎佐波広域圏の四市町村(伊勢崎、赤堀、佐波東、境)を枠組みとする合併の賛否を問う佐波東村の住民投票が八日、村内八カ所の投票所で行われた。投票率が50%を超え住民投票が成立。即日開票の結果、賛成が五千六百三十九票に上り、反対の三千六百五十一票を千九百八十八票上回った(選管確定)。投票率は58・35%(男56・83%、女59・86%)だった。

「平成の合併」をめぐる住民投票が行われたのは県内で初めて。開票結果について、松原宣夫村長は「過半数の意見を尊

重する」と約束しており、賛成が有効投票の六割を超えた結果を受け、合併を推進する「追い風」となった上、枠組み全体



佐波東村の住民投票で投票する村民

の合併にも大きな弾みとなりそうだ。

同村は今年三月、村議会定例会で住民投票条例を全会一致で可決した。五月三十一日の告示から、村当局が投票参加をPRし、合併に対する賛否両派も運動を繰り広げた。また、「住民投票は時期尚早」などと投票棄権を呼びかけるチラシも配られ、今夏の村長選をめぐる駆け引きも見え隠れした。

住民投票には県内で初めて永住外国人の投票権も認められ、フィリピン人の女性一人が参加した。

伊勢崎市など四市町村でつくる任意合併協議会は、八月中の法定合併協議会移行を目指している。同市は合併アンケートを実施中で、赤堀町が今後アンケートを行い、境町では住民投票を検討しており、佐波東村の住民投票の結果に注目していた。

当日の住民投票資格者数は一万六千五百五十二人(男八千三十六人、女八千百七十七人)だった。